



5月の住民投票に向けて開かれた「特別区設置協
定書」の住民説明会＝14日、大阪市浪速区内

「僕の説明会意見聞く場でない」

大阪市の「協定書」説明会 橋下氏が暴言

説明乏しく維新の主張繰り返す

大阪市を廃止・解体する「特別区設置協定書」の賛否を問う住民投票(5月17日)に向け、大阪市主催の住民説明会が14日から始まりました。同日午前、大阪市浪速区の浪速区民センターで開かれた第1回目の説明会には約350人が参加。橋下徹市長(大阪維新の会代表)が「僕の問題意識が正しいかを考えてほしい」と持論を展開したのに対し、参加者からは「協定書」の内容などをまとめたパンフレット(大阪市民に全戸配布)に基づいて大都市局が説明。橋下氏は「二重行政の解消で税金の無駄遣いをやめる」「260万人の大阪市で、選挙で選ばれたトップが僕1人ではない」と述べ、持ち時間を10分も超過しました。質疑応答では「2時間(の説明)で判断しろという方が問題」「二重行政と言うが、大阪市、大阪府の政策の誤りではないか」などの疑問が続出。橋下氏は話をすり替えた挙句、「僕の説明会であって、皆さんの意見を聞くのではない」と言い放ちました。

大阪府東成区から参加した楠田るみさん(66)は、「市長1人ではなく、5人の特別区長を選挙で選ぶのが住民自治だと橋下氏は言いましたが、私たちは直接市長や区長ではなく、職員や議員を通して要望します。逆に、橋下氏が議会などを無視する独裁的やり方がはっきりした」と話していました。

終了後、会場前では「明るい民主大阪府政をつくる会」「大阪市をよくする会」が「大阪府解体はノー」と宣伝しました。